

JR東海バス 決算・経営協議会開催！

2024年度決算・大幅増

営業収益、55億3千8百万円(前年同期比7.8%増)

経常利益、6億3千7百万円(前年同期比263.8%増)

当期純利益、6億7千9百万円(前年同期比212.2%増)

2025年5月20日JR東海バス会社との決算・経営協議会が開催され、大幅な増収・増益が報告された。

経営協議会の冒頭、会社からは

「決算において昨年より倍以上の純利益を計上できた。要因としては乗合運輸収入が増えた事が一番の要因である。乗合・貸切共に高収入となった。この乗務員不足の中、乗務員・内勤者・運行管理者の方々には深く感謝いたします。GW輸送も概ね順調であった。しかし、そのような中、東京支店において夜行便の出勤時の飲酒検査でアルコール反応が出て乗務員の交代という事象が発生した、大変遺憾である。会社としての信用を失うことになり、社員としての自覚を持って決められたことを行っていたきたい。今後も決められたことを守り「重大事故0」「利益目標年8億円」の目標達成に向け、労使で努力して行きましょう」と挨拶がありました。

主な議論

組合：中間決算では1億2千万円の純利益で決算では6億7千万円の純利益でしたが、取り訳第3第4四半期が好調との考えで良いか。第4四半期の4億の純利益の主な要因はなにか。事業計画では1億4千万円の黒字が目標だったが、利益の要因と事業計画を大きく上回った事について、会社としてどの様にとらえているか。

会社：会社見解にもあるが乗合運輸収入が昨年より、一般乗合運輸収入が4億4千万円プラス、貸切運輸収入が5千万円プラスで昨年より約5億上がってるのが、利益の要因である。事業計画から大幅に利益が出た事は想定以上にインバウンドを含めて利用客が増え、それにより運輸収入が想定以上に上がった事が要因である。

国労東海かべ新聞

国鉄労働組合東海本部 編集責任者：教宣部長